

各ワーキンググループにおける議論等の整理を踏まえた論点（案）

- 1 障害者の就労支援における基本的な考え方
 - 2 雇用施策と福祉施策の連携強化に関する対応策の具体的な検討の方向性
- 障害者のニーズの把握と就労能力や適性の評価の在り方（WG1）

（議論等の整理の方向性）

- ・ まずは福祉・雇用それぞれのサービス体系におけるアセスメントについて、実効あるものとなるよう仕組みの構築又は機能の強化。
- ・ 福祉・雇用それぞれのサービス等を選択・決定する前の段階で、「共通の枠組み」により実施。

- 障害者就労を支える人材の育成・確保（WG2）

（議論等の整理の方向性）

- ・ 雇用と福祉の両分野の基本的な知識等を分野横断的に付与する基礎的な研修の確立。
- ・ 専門人材の高度化に向けた階層的な研修制度の創設。
- ・ 専門人材の社会的認知度の向上や社会的・経済的地位の向上等による専門人材の確保。

- 障害者の就労支援体系の在り方（WG3）

（議論等の整理の方向性）

- ・ 企業等で就労しつつ、就労継続支援事業を利用することについては、一定のニーズを踏まえて取組として進めることが適当。
- ・ 定着支援について、現行の取扱いに基づく各支援の関係を就労定着支援事業所等の関係者間で十分に理解することが重要。
- ・ 地域の関係機関との連携について、障害者就業・生活支援センターは基幹型の機能として、地域の支援ネットワークの強化、充実を図ることも必要。ただし、地域の実情等に応じて個別支援の実施機関としての役割とのバランスにも留意する必要。また、地域障害者職業センターとも連携を進めていくことが必要。

- その他

- ・ 各WG間で相互に関連する内容
- ・ 各WGで議論したテーマ以外で雇用と福祉の連携に関する内容